

## 【成果報告書 1：海洋教育のデザイン】

1. 学校名 小浜市立内外海小学校

2 活動テーマ名 内外海の素晴らしい自然や伝統を未来につなごう  
—海と山は友だちプロジェクト—

### 3 実践の概要・ねらい

「海と山は友達」をテーマに、「海に親しみ」「海を知り」「海を守り」「海を利用する」という海洋教育の4つのキーワードを基にして、地域・大学・専門機関等と連携・協働した学習を組み立て、海に親しみ、人と関わり、海と共に生きる環境教育等を中心とした活動を実施した。そして、さらには児童たちが、「本地域の海の豊かさ（自然環境）」と「人との関わりやつながり（社会環境）」を実感し、「ふるさとと内外海」が水産業や観光を中心に今後も持続可能な地域社会として発展していくことができるように、自らの生き方を見つめながらこれらのことを実践していくことを目的とした。

全体を通して、総合的な学習の時間（ふるさと学習を含む）とESDのファクターである体験・探究・発信・交流を位置付けた計画にする。学習の流れは、大まかには、課題設定・調べ学習・まとめのレポート等の作成・発表（発信）という流れで学習を進めた。

課題意識を耕し方向性が見通しに役立つよう、ゲストティーチャーを迎えての出前講座の授業も位置付け、座学だけでなく、実感のある学びをさせるために、定置網漁、養殖ワカメ種付け・ワカメ採り、鯖のなれ寿司作り、鯖街道徒歩踏、シーカヤック、遠泳などの体験活動を取り入れた。以下に本年度実施した活動を示す。

### 4 実践計画

月	4年	5年	6年
4	・栽培漁業センター見学		・なれ寿司作り
5		・定置網漁体験	
6	・海的环境等に関する出前授業	・犬熊等海岸のごみ調査と清掃 ・養殖鯖飼育見学 ・栽培漁業センター見学 ・海的环境等に関する出前授業	・犬熊等海岸のごみ調査と清掃 ・鯖街道踏破 ・海的环境等に関する出前授業
7	・シーカヤック体験	・遠泳大会	・シーカヤック体験 ・遠泳大会 ・勝山市子ども会との交流
9			・鯖街道踏破・なれ寿司作り ・養殖鯖飼育見学 ・鯖街道踏破
10			
11		・小浜市漁港の見学	

1 2	・わかめ種付け体験活動		
1	・奈良市でのPR活動 ・塩作り	・牡蠣養殖体験活動	・なれ寿司作り ・内外海PR活動 ・奈良市でのPR活動
2	・学習発表会；全校(内外海 地区活性化策等提案 ・わかめとり体験活動	・学習発表会；全校(内外海 地区活性化策等提案 ・取り組み紹介(市内他小学校)	・学習発表会；全校(内外海 地区活性化策等提案

## 5 今年度の実践

### (1) 計画からの変更点

本校の児童の様子として外部への発信力がまだ十分ではなく、人前では十分に自分の思っていることを表現できない児童が多い。この弱点を補うため、年度当初予定にはなかった奈良市でのPR活動や市内の他校を訪問し、自分たちの取り組みを発表する場を設け、実施した。以下に主な活動の取り組みを示す。

#### ① 遠泳大会

海での命の守り方を学ぶ、地域の自然の素晴らしさを感じる、仲間と共に長い距離を泳ぎ切り、達成感を味わうことを目的とし、今年度で22回目となる遠泳大会を実施した。犬熊地区の海水浴場から阿納地区の海水浴場まで5年生は500m、6年生は1000mのコースを泳いだ。地域の方に監視・伴泳などの協力をしていただき、全員が完泳することができた。



#### ② 定置網漁体験

本校区の宇久地区で定置網をされている浦谷氏にお世話になり5、6年生が定置網漁体験を実施した。実際に漁に出る前には、浦谷氏を講師として招き、漁業の大変さや海の変化についてお話をしていただいた。温暖化の影響で海水温が高くなり、九州で獲れていたサワラが獲れるようになってきたこと、海を守るためには山に木を植えるなど山の環境も大切にしなければいけないことを学んだ。また、漁業がこれからも成り立っていくために六次産業化などの経済面での工夫も必要であることを学んだ。定置網漁体験では、様々な種類の魚が獲れることや、体力がいる大変な仕事であることが実感を持って理解することができた。



#### ③ 勝山市子ども会との交流事業

勝山市の子ども会の児童と本校の6年生が互いに交流し合い、海と山の地域の違いを理解しながら、親睦を深める活動を行った。内外海地区に勝山の児童を招き、釣りや海水浴、シーカヤック体験などを行った。また、夏に勝山市の児童が小浜市へ来た際には、内外海の児童たち

が内外海地区や小浜市の見どころや歴史などをパンフレットにまとめ、プレゼンも実施し、内容の濃い意見交換や交流ができた。

#### ④ 鯖街道踏破

6年生は、京都へつながる海の幸が内外海地区から始まっていることに誇りを持つために鯖街道を実際に歩く活動を行った。京都までは最短距離である針畑峠越えの約72kmの行程を歩いた。日程や児童の体力面を考慮して、全体を3回に分けて実施した。

事前学習として県立歴史博物館で鯖街道のことを学習した後、第一弾として、6月7日に内外海小学校から徒歩で上根来地区（17km）までの行程を踏破した。まず、起点であるいづみ町に行き、鯖街道資料館で鯖街道の歴史を学習した。旧下根来小学校から1kmほど先の谷口地藏堂に自転車を置き、そこからは徒歩で上根来地区を目指し、ゴールの休憩所助太郎に到着した。児童はみんな元気で、予定していた旧上根来小学校からさらに上がって、集落の先まで歩くことができた。坂道を歩くことによって先人の苦労を実感することができた。児童たちは次からの山道への期待を持って活動を終えることができた。



第2弾は、9月15日に上根来から京都久多まで約27kmを踏破した。当日は天候にも恵まれ、古道の素晴らしさを感じながら歩くことができた。鯖街道踏破というのぼりを交代で持ちながら、道中出会う人と交流しながら全員が踏破することができた。



第3弾は9月22日に実施した。久多から京都鞍

馬街道までの約17kmを徒歩で、最後は鯖街道終点の出町柳榊形商店街までバスで移動し、商店街の方に出迎えてもらった。第3弾では、自分たちで作ったなれずしを交代で運ぶことで、先人の苦労や知恵を、実感を伴って理解することが

きた。

#### ⑤ 鯖の養殖の見学

小浜市では「鯖復活プロジェクト」と題して、マサバの養殖を田島区で開始している。鯖の漁獲量が減っていることを学習した6年生は、なれずしなどの文化を残すためにも養殖の大切さを感じ、どのように行っているのかを見学させてもらうことにした。

養殖筏まで船で移動し、鯖の大きさによって筏を変えていることや、餌の大きさを変えて与えていることを学んだ。漁師の方から、鯖は弱い魚で養殖が難しいことや、天然のえさが寄生虫のもとであり、養殖だと生で食べることができるようになるというお話を聞き、これまで学習したフグの養殖との違いに気づくことができた。



#### ⑥ 小浜市漁港の見学

本校地区で捕れた魚がどのようにして市場に出て競りにかけられ売られていくのか、それによってどのように生計を立てているのかを知るため、朝7時過ぎに漁連を見学した。児童たちも競りを見るのは初めてで、独特の言い回しや身振り手振りの様子を見て、水産物の売買の仕組みをしっかりと学習していた。



#### ⑦ 奈良市との交流活動

総合的な学習の一環で、姉妹都市である奈良市役所で内外海のPR活動を実施した。これまでの取組みを外へ発信する機会を設けることで、学習がより一層深まることをねらった活動で市商工観光課から小浜市の御食国のはっぴを借り、作った塩と袋詰めしたワカメを用意しながらたくさんのお客さんの前でも堂々と発表することができた。発表の後は塩とワカメ、小浜市のパンフレット、なれずしを聞いてくれた方にプレゼントした。近くにいた人だけでなく、自分から遠巻きにみていた人にも持っていく積極的に渡すことができた。その際に、色々質問もあったが上手に受け答えすることができていた。その中でも特に自分たちで作った塩についてはしっかりと説明することができた。



#### (2) 実施の成果

本校地区は、日々「海の恵み」を受けて生活している児童が多い。児童たちは体験活動を実施した後、内外海地区の活性化には、海なしでは語れないことを実感した様子だった。この学習を通して、自分たちの誇りである海を将来へ残していきたいという強い思いを持ち、自然環境・社会・人とのつながりにおいて、自分たちに何ができるかを考えて具現化していき、内外海地区活性化について保護者や地域等に発信することができた。

(3)次年度への課題

今、本市では水産業の従事者がだんだんと減っていて、後継者も少なくなっていて、従事者も高齢化が進んでいる。中で、本校ではこのふるさと学習を通して、今度は自分たちが地区の水産業を引き継いでいきたいという「たくましく生きる力」を持てる児童が増えてくれることを期待している。そのため、児童たちの関心を持続させるため、この活動をさらに継続していく必要があると感じた。

6. 主な連携機関及び内容

(1)若狭湾青少年自然の家

- ・シーカヤック体験
- ・海の環境等に関する出前授業
- ・塩作り

(2)福井県立大学 小浜

- ・海の環境等に関する出前授業

(3)勝山市教育委員会 生涯学習課

- ・勝山市子ども会との交流

(4)奈良市観光課

- ・奈良市でのPR活動

(5)福井県栽培漁業センター

- ・栽培漁業の見学

(6)小浜市漁業協同組合

- ・小浜漁港の見学

# 4年生「海と山は友だちプロジェクト2017」

## 【実践のねらい】

海辺の環境と人々の生活との関わりについて考えることができるように、山や海の観察・調査、ワカメ養殖体験、関連施設見学等の体験的活動を取り入れる。「ふるさと内外海」への思いや考えを深めさせ、主体的に学ぶ意欲、自ら考え表現する力、実践する力を育てる。

○時数 5月～3月 62時間（総合的な学習の時間56、社会科6）

○関連 社会科

○目標

- 実際に行って海の様子を見たり、海を生かした仕事（水産業や観光業等）に従事する人の話を聞いたりすることで、地域の現状を捉え、海と人の結び付きの深さを実感することができる。
- 地域の魅力を調査し、実際に発信する活動を通して、「海と山は友だち」というテーマの意味を考え、より良い地域の創造に向けて意欲を持つことができる。

### 【主な連携機関と内容】

- ・漁業協同組合：養殖体験・見学
- ・県栽培漁業センター：関連施設見学
- ・若狭湾青少年自然の家：海と山の体験活動・学習

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
体験的な活動	<p>○海を知る</p> <p>①海と山の関係について調べよう (6) 総合</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・志の道を登り、山の現状を観察する</li> <li>・青少年自然の家の遊歩道を歩き、山の地形と沢の様子を観察する</li> </ul>						<p>○海に親しむ</p> <p>①漁師の仕事を体験しよう (6) 総合、社会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・フグや牡蠣の養殖見学等</li> <li>・ワカメの種付け、収穫の体験等</li> <li>→ 従事している人の願いや工夫・努力を知る</li> <li>・内外海の海の特産物を知る</li> </ul>					
探究的な活動	<p>○海に親しむ</p> <p>①海に関わる仕事を見学しよう (4) 総合、社会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県栽培漁業センターで、フグ等の養殖を見学する</li> </ul> <p>②いろいろな船に乗ろう (10) 総合</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・雲龍丸の乗船体験をする</li> <li>・青少年自然の家の海で、シーカヤックを体験する</li> <li>→ 海中林の観察</li> <li>・青少年自然の家の海で、スノーケリングを体験する</li> <li>→ 海中林に住む動植物の観察</li> </ul>						<p>①内外海の海と山の環境を守ろう (5) 総合</p> <p>漁師さんの話や今の海と山の様子等から、どのようにして海と山の環境を守っていくか考え、実行する → 植樹、浜掃除、ビーチコーミング等</p> <p>②内外海の魅力をPRしよう (8) 総合</p> <p>地域の魅力を発信する方法を考え、作成する。</p>					
表現活動	<p>①見学や活動したことを新聞にしよう (8) 総合</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県栽培漁業センターの見学新聞</li> <li>・青少年自然の家の海での活動新聞</li> <li>→ ハイキング、シーカヤック、スノーケリング</li> </ul>						<p>○海を利用する</p> <p>①発信「内外海の魅力！」(15) 総合</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・奈良市役所でのPR活動；1月 海の特産物やレジャーの紹介</li> <li>・学習発表会；2月 保護者、地域の人々を対象</li> <li>豊かな水産資源を守るためにも、山林を大切に守っていききたい</li> </ul>					

# 5年生「内外海の海の魅力を大冒険！」～海と共に生きる楽しさと暮らしを探ろう～

## 【実践のねらい】

海の世界と人々の生活との関わりについて考えを深めることができるように、定置網漁、漁船乗船、関連施設見学等の体験的活動を取り入れる。地域の生活や産業（水産業・観光業等）について自分なりの意見を持ち、地域の発展について考えさせる。持続可能な地域社会像を話し合い、広く発信する活動を通して主体的に学び、実践する力を育てる。

○時数 5月～3月 82時間（総合的な学習の時間 50、社会科 12、理科 4、図画工作科 10、学校行事 6）

○関連 社会科、理科、図画工作科、学校行事

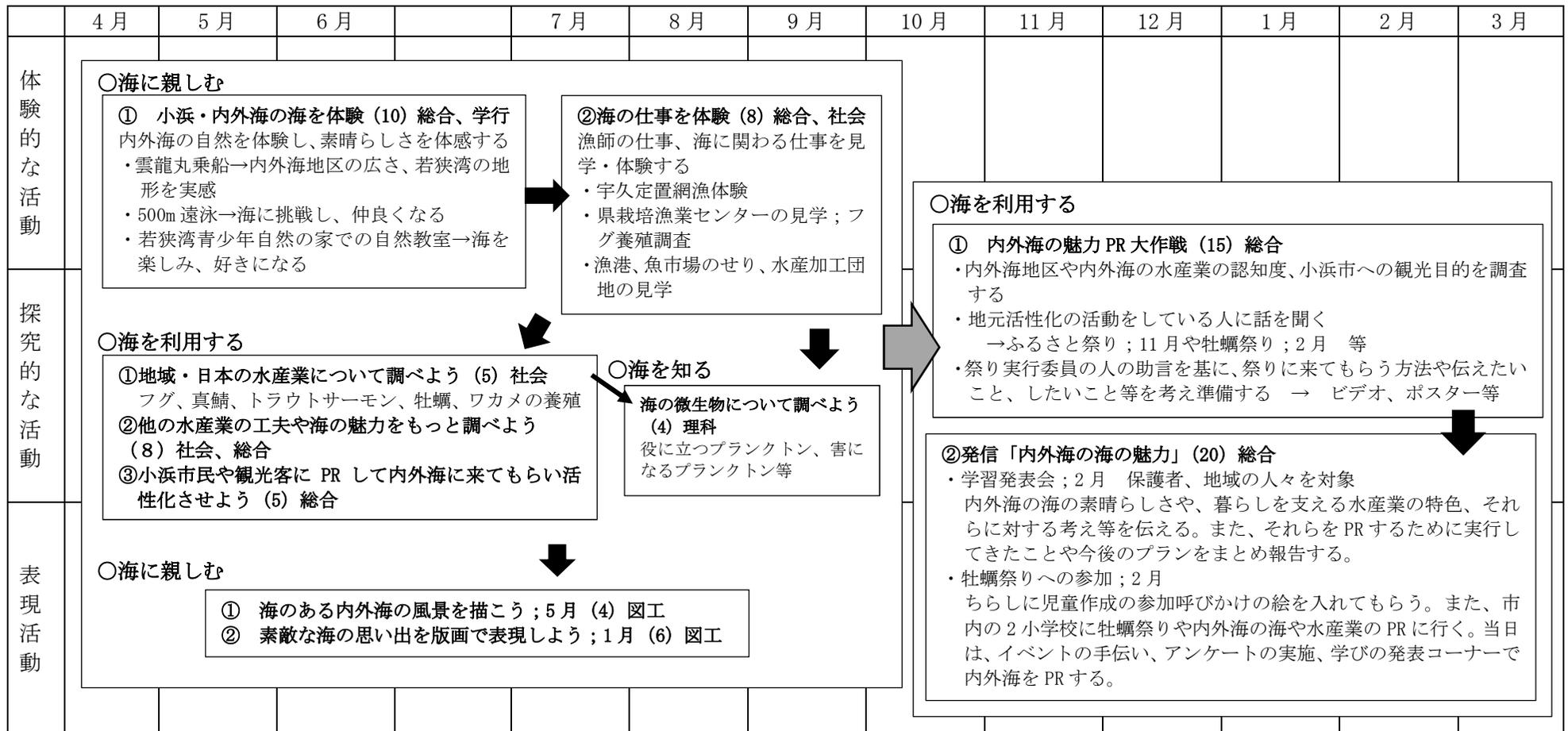
○目標

(1) 「海に親しむ・海を利用する」活動を行うことで、海を身近なものとして捉え、海の世界と人間生活との関わりについて自分の課題として考えたり、海と人の結び付きの深さを実感したりすることができる。

(2) 地域の魅力を調査し、実際に発信する活動を通して、海と共に生きることの意義を考え、より良い地域の創造に向けて意欲を持つことができる。

### 【主な連携機関と内容】

- ・漁業協同組合：定置網漁・養殖体験や見学
- ・公民館：活性化に係る活動
- ・県栽培漁業センター：関連施設見学



# 6年生「みんなの暮らしを守り隊3・内外海の活性化プロジェクト」

## 【実践のねらい】

内外海の自然環境と人々の生活との関わりについて考えを深めることができるように、鯖のなれ寿司作り体験、鯖街道踏破体験、関連施設見学等の体験的活動を取り入れる。地域の生活や産業（水産業・観光業等）について自分なりの意見を持ち、地域の発展について考えさせる。自分たちの生きる地域を深く見つけ、将来像を話し合い、広く発信する活動を通して主体的に学び、実践する力を育てる。

○時数 5月～3月 73時間（総合的な学習の時間60、社会科9、学校行事4）

○関連 社会科、学校行事

○目標

(1) 「海を知る・海に親しむ・海を利用する」活動を行うことで、海を身近なものとして捉え、海の世界と人間生活との関わりについて自分の課題として考えたり、海と人の結び付きの深さを実感したりすることができる。

(2) 地域の魅力を調査し、実際に発信する活動を通して、内外海のよさを生かしたより良い地域の創造に向けて意欲を持つことができる。

### 【主な連携機関と内容】

- ・田鳥我袖倶楽部：鯖のなれ寿司作り
- ・公民館：活性化に係る活動
- ・若狭歴史博物館：関連学習施設

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
体験的な活動	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>○海を知る</b></p> <p>①海に関わりの深い伝統と文化について調べよう (12) 総合</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・伝承料理のへしこやなれ寿司について調べて作る</li> <li>鯖をさばいて塩漬けにする → 塩を落として糠に漬ける → 糠を落として米麴を詰めて発酵させる → 樽から取り出して完成</li> </ul> </div>											
探究的な活動	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>○海に親しむ</b></p> <p>①内外海の世界を体験しよう (6) 総合、学行</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・雲龍丸の乗船体験</li> <li>・シーカヤック体験 → 勝山市子供会との交流</li> <li>・800m 遠泳 → 海に挑戦し、仲良くなる</li> </ul> </div>											
表現活動	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>○海を知る</b></p> <p>①海を通じた文化交流の歴史を調べよう (20) 総合、社会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・鯖街道について調べる → 若狭歴史博物館等での学習</li> <li>・鯖街道踏破体験 → 3回に分けて京都出町柳柳杉商店街まで実際に歩く</li> </ul> </div>											
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>○海を利用する</b></p> <p>①地域の活性化を計画しよう (12) 総合</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・防災マップを生かして、地域の安全、防災、減災を考える</li> <li>・マップや新聞を生かし、内外海のよさを再発見する</li> <li>・将来の内外海を考える</li> </ul> </div>											
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>②京都や奈良とのつながりが分かる歴史マップ・新聞を作ろう (8) 総合、社会</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・鯖街道踏破体験の新聞</li> <li>・食の世界遺産認定の鯖のなれ寿司の作り方や食べ方新聞</li> <li>・食を通じた都とのつながりが分かる歴史マップ</li> </ul> </div>											
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>②発信「将来の内外海」(15) 総合</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・奈良市役所でのPR活動；1月 鯖のなれ寿司</li> <li>・学習発表会；2月 保護者、地域の人々を対象 自然や食、防災を視点とした地域の活性化策を提案する</li> </ul> </div>											